

札幌市内の高齢者対応 共同住宅2283室を把握

市、住まいるアップ委アンケート速報

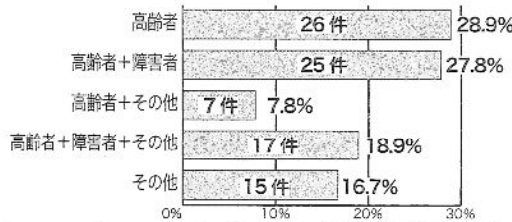
札幌市内にある高齢者対応共同住宅の居室は二千二百八十三室、そのうち高齢者対応居室は二千二百六室把握されたことが、札幌市とNPO法人シーズネットの札幌・住まいるアップ委員会アンケート調査結果(速報)で分かった。同委員会は「市内共同住宅の高齢者対応居室は」単純推計で四千五百室程度になるのでは」とみている。

高齢者居室2206室、 単純推計4500程度か

調査は市内で高齢者専用賃貸住宅、高齢者専用と謳っている住宅約百九十件を対象に十一月実施。九十件が回答(回収率四七・一%)。回答した住宅のうち、高齢者専用賃貸住宅、高齢者専用と謳っている住宅、高齢者専用賃貸住宅など制度外の共同住宅・下宿は六十三件。入居者を高齢者に限定している住宅、高齢者と障害者を対象に

介護サービス併設6割 入居相談、MSWからが2位

入居対象者(複数回答)



高齢者対応部屋数

部屋数	件数	割合(%)
4以下	3	3.7
5~9	8	9.9
10~19	31	38.3
20~29	16	19.8
30~39	7	8.6
40~49	3	3.7
50~59	3	3.7
60~69	4	4.9
70以上	6	7.4
計	81	100.0

※全部屋数と高齢者対応が
あつた81件を集計

している住宅を併設したり平均二・八割で、訪問介護者対応の居室は二千二百八十三室、一

入居時の介護状態が最も多いのは「要介護可」の三六・七%、医学管理が必要な人の入居では「病状の内容によって可」が六六・七%。医療上の支援は服薬確認、通院介助バ

イタルチェックなどの順に多かった。食事提供は八十七件とほぼすべての住宅が対応。料金が定額制なのは四九・四%と約半数に上り、一食単位で三七・九%、一日単位で九・二%だった。入居相談は子供や子供の配偶者からの相談が最も多く、次いで医療ソーシャルワーカー(MSW)、ケアマネ、

本人などの順。MSWが二番目に多かったのが二番目に多かったのは、共同住宅が退院患者の受け皿の一つと考えられている実態が浮き彫りになった形だ。同委員会は今回の調査結果を踏まえ、定義や類型化を検討。一月

中旬以降には現地調査も予定している。